

# 四季防災館のリニューアルの検討について

令和 6 年 8 月 2 9 日

富山県

# 目次

---


1 前回検討会の振り返り	・・・ 3	4 リニューアル計画骨子	・・・27
・ 振り返り、主なご意見			
2 アンケートの結果について	・・・ 7	5 スケジュール	・・・29
・ 県民アンケートの結果			
・ 来館者アンケートの結果			
3 リニューアルの方向性（たたき台）	19		
・ コンセプト、ターゲットの考え方			
・ キーワード			
・ 既存コーナーの方向性			
・ アンケートで要望の高かったコーナー			
・ キーワードとコーナー例			
・ 災害種別、機能別整理			

---

# 1 前回検討会

- ・ 振り返り 主なご意見

# 1 前回検討会 振り返り

1 施設の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"><li>● 来館者数は減少傾向 H24：42,588人 ⇒ R5：24,507人 (△18,081人 △42.5%)</li><li>● 施設設備の陳腐化 (来館者から展示が古いとの指摘あり。開館から12年経過)</li><li>● 災害等への対応 (災害への備えや避難行動につながる展示がない)</li></ul>
2 能登半島地震からの現状と課題	<ul style="list-style-type: none"><li>● 初めての震度5強の地震でとまどった (大地震への備えが必要との意識が広がった)</li><li>● 多くの住民が車で避難したため道路渋滞が発生 (津波被害が想定されていない地域からも避難)</li><li>● 震源から遠く離れた地域でも液状化等の被害</li></ul>  <div data-bbox="1796 506 2484 921" style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"><p>&lt;課題&gt;</p><ul style="list-style-type: none"><li>・ 避難行動や地域のリスクの住民への十分な周知</li><li>・ 日頃からの備えについて普及啓発</li></ul></div>
3 リニューアルの方向性	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本県の体験型学習施設として、今回の地震の教訓や記録を活かしたリニューアルとする</li><li>● より正しく災害を理解し、災害への備えができるよう、リニューアルを行う。</li></ul> <div data-bbox="547 1178 2458 1313" style="border: 2px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px;"><p>ありたい姿・実現したい未来      県民が災害を知り、正しく恐れることで、災害への備えができ、安全・安心実感が充実している</p></div>

# 1 前回検討会 主なご意見 ①

1 地震	<ul style="list-style-type: none"><li>● 地震が起きたときに実際に何をしたら良いか分からないという方が多いので、とにかく地震を体験してもらうということが大切。</li><li>● 四季防災館にも地震体験はあるが、近年はインパクトを重視する傾向になるので、インパクトを強くする方向で検討してはどうか。</li><li>● 地震が起きたときにどのような行動を取れば良いかが分かるような体験や映像をぜひ導入してほしい。</li><li>● 富山県ならではの地震のメカニズムとか、液状化に関して認識を高めるようなものを導入してはどうか。</li></ul>
2 備え・避難生活	<ul style="list-style-type: none"><li>● 災害時の衣服の備えができていないという意見もある。避難生活は長期戦になるので、衣服の備えに関する展示も必要</li><li>● 避難行動に関して、必ずしもこうでなくてはいけないというものはなく、災害の態様に応じてケースバイケースなので、ケースによるクイズ形式のものも必要。</li></ul>
3 学び	<ul style="list-style-type: none"><li>● 来館前にインターネット上で学ぶことができる仕組みがあると良い。</li><li>● ケーススタディであったり、そういったものを持ち帰る機能も検討してほしい。</li><li>● 川が増水するとどのような変化があるかなどを学ぶことができるものも必要。</li></ul>

# 1 前回検討会 主なご意見 ②

4 体験 (展示手法)	<ul style="list-style-type: none"><li>● V R (仮想現実) だけでなく A R (拡張現実) もあり、実際に導入される施設が増えている。そちらの導入も検討してほしい。</li><li>● V R 及び A R をうまく用いれば、非常に臨場感のある体験ができるので、そういったものの導入は重要。</li><li>● 映像は必要ではあるが、インパクトが強すぎるとトラウマになってしまう懸念もあるので、年齢に即したものを検討してほしい。</li></ul>
5 集客	<ul style="list-style-type: none"><li>● 元日に親戚で集まっており、地震発生の際、大人は全く行動できなかったが、子どもの行動は早かった。大人が四季防災館に来館するような仕組みも必要。</li><li>● 四季防災館前を通る路線バスがあるが、あまり知られていないので、そういったものの P R も必要。</li><li>● スタンプカードなどの何度も四季防災館を訪れたくなる仕掛けもあったら良い。</li><li>● 四季防災館は団体でないと見学できないと誤解される方もいるので、団体だけでなく個人でも見学や体験をできることを P R してほしい。</li></ul>
6 その他	<ul style="list-style-type: none"><li>● 県民向けアンケートについて、リピーターの状況とリピーターがどのようにして生まれるのかを聞けたら良いと思う。</li></ul>

---

## 2 アンケート結果について

- ・ 県民アンケートの結果
- ・ 来館者アンケートの結果

## 2 アンケート結果について 県民アンケート①

### <アンケートの概要>

- (1) 調査方法 県公式LINE、X及びHPにより回答用のURLを周知し、Webにて回答
- (2) 調査期間 令和6年6月5日～28日
- (3) 回答方法 Webで回答
- (4) 回収状況 回答数 1,287人（県内：992人、県外：295人）

質問項目	回答概要（1-1及び1-3～5まで県内在住者のみで集計）				
1-1 施設の認知度	①知っている 79.1%（785人） > ②知らない 20.9%（207人）				
1-2 施設の認知度 （居住地別）	富山市（528人）	知っている	83.5%（441人）	知らない	16.5%（87人）
	県東部（136人）	〃	74.3%（101人）	〃	25.7%（35人）
	県西部（328人）	〃	74.1%（243人）	〃	25.9%（85人）
	県外（295人）	〃	32.5%（96人）	〃	67.5%（199人）
1-3 施設の認知度 （年代別）	10代（25人）	知っている	84.0%（21人）	知らない	16.0%（4人）
	20代（69人）	〃	78.3%（54人）	〃	21.7%（15人）
	30代（187人）	〃	75.9%（142人）	〃	24.1%（45人）
	40代（222人）	〃	83.3%（185人）	〃	16.7%（37人）
	50代（216人）	〃	77.8%（168人）	〃	22.2%（48人）
	60代（182人）	〃	74.7%（136人）	〃	25.3%（46人）
	70代以上（91人）	〃	86.8%（79人）	〃	13.2%（12人）



## 2 アンケート結果について 県民アンケート②

質問項目	回答概要	
2 知ったきっかけ（複数選択可）	① 知人、友人等から聞いて ② 新聞、雑誌、ラジオ、テレビを見て ③ ホームページを見て	39.0% (306人) 32.4% (254人) 14.8% (116人)
3 来館の経験	① 1回だけ来館 ② 2回以上来館 ③ 来館したことが無い	24.1% (239人) 26.9% (267人) 49.0% (486人)
4 来館の形態（複数選択可） ※来館経験が無い場合は、希望する形態を選択	① 友人や家族等と共に来館 ② 自治会や自主防災組織として来館 ③ 学校の授業等の一環として来館 ④ 勤め先の研修等で来館 ⑤ 1人で来館	60.3% (598人) 17.3% (172人) 13.6% (135人) 12.0% (119人) 7.4% (73人)
5 2回目以降の来館のきっかけ （上位5回答） ※複数選択可 2回以上来館している267人が対象	① 友人や家族等に誘われて ② イベントや講座が開催されていたため ③ 自治会や自主防災組織の行事等で ④ 学校の授業等の一環として ⑤ 勤め先の研修等で	40.1% (107人) 29.1% (78人) 19.5% (52人) 13.5% (36人) 10.1% (27人)

## 2 アンケート結果について 県民アンケート③

質問項目	回答概要（来館経験がある506人の者のみで集計）	
6 施設の充実度	①充実している 35.4% (179人) ②どちらかといえば充実している 55.5% (281人) ③どちらかといえば充実していない 8.8% (44人) ④充実していない 0.4% (2人) 充実①+② 90.9% (469人) > 充実していない③+④ 9.1% (46人)	
7 リニューアル後の来館意向	①来館したい 77.7% (393人) ②どちらかといえば来館したい 20.9% (106人) ③どちらかといえば来館したいと思わない 1.4% (7人) ④来館したいと思わない 0% (0人) 来館したい①+② 98.6% (499人) > 来館したくない③+④ 1.4% (7人)	
8 施設に求める機能 (複数選択可)	①リアリティのある災害を体験できる機能 85.0% (430人) ②地域の災害リスク等を学べる学習機能 63.2% (320人) ③災害への日頃の備え等に関する展示機能 61.7% (312人)	
9 施設に求める機能 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 能登半島地震。県内で起きた災害状況、テレビで放映されない所など、詳しく状況を学べるといい</li> <li>・ 実際に災害にあわれたひとの生の体験談を聞きたい。</li> <li>・ 災害への備えを体感できるコーナー。実際に○日分の過ごす為の水などをカバンなどにつめて避難してみるなど。</li> </ul>	

## 2 アンケート結果について 県民アンケート④

質問項目	回答概要（来館経験がある506人の者のみで集計）	
10-1 新設又は充実したらよいもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>①現場にいるような（没入できる）災害の体験</li> <li>②実際に近い、生活場面に即した地震体験</li> <li>③住んでいる地域（自宅）のリスクを学ぶ</li> <li>④水害（浸水時）の危険の体験</li> <li>⑤展示で、日頃の備えや避難行動を学ぶ</li> <li>⑥ゲーム（クイズ）で正しい避難の方法を学ぶ</li> <li>⑦避難所生活を具体的に考える</li> <li>⑧映像で、災害や避難行動等を学ぶ</li> <li>⑨災害の記憶を残す</li> <li>⑩何度も四季防災館を訪れたくなる仕掛け</li> <li>⑪模型で、災害のしくみを学ぶ</li> <li>⑫学んだ知識を家庭に持ち帰り、共有する</li> <li>⑬地域（地元）で学べる出前講座</li> <li>⑭インターネット上での来館前の事前学習</li> <li>⑮その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>75.9%（384人）</li> <li>64.2%（325人）</li> <li>63.2%（320人）</li> <li>61.1%（309人）</li> <li>47.2%（239人）</li> <li>46.4%（235人）</li> <li>40.9%（207人）</li> <li>34.8%（176人）</li> <li>28.7%（145人）</li> <li>28.3%（143人）</li> <li>27.7%（140人）</li> <li>26.3%（133人）</li> <li>23.7%（120人）</li> <li>13.2%（67人）</li> <li>2.0%（10人）</li> </ul>

## 2 アンケート結果について 県民アンケート⑤

質問項目	回答概要	
<p>10-2 新設又は充実したらよいもの            ※来館経験があり、かつ質問項目6で施設が「充実している」又は「どちらかという充実している」と回答した460人の者のみで集計</p>	<p>①現場にいるような（没入できる）災害の体験            ②実際に近い、生活場面に即した地震体験            ③住んでいる地域（自宅）のリスクを学ぶ            ④水害（浸水時）の危険の体験            ⑤展示で、日頃の備えや避難行動を学ぶ            ⑥ゲーム（クイズ）で正しい避難の方法を学ぶ            ⑦避難所生活を具体的に考える            ⑧映像で、災害や避難行動等を学ぶ            ⑨災害の記憶を残す            ⑩何度も四季防災館を訪れたくなる仕掛け            ⑪模型で、災害のしくみを学ぶ            ⑫学んだ知識を家庭に持ち帰り、共有する            ⑬地域（地元）で学べる出前講座            ⑭インターネット上での来館前の事前学習            ⑮その他</p>	<p>75.0%（345人）            63.9%（294人）            62.8%（289人）            61.1%（281人）            47.6%（219人）            45.4%（209人）            40.9%（188人）            34.1%（157人）            28.5%（131人）            27.4%（126人）            27.0%（124人）            26.7%（123人）            22.8%（105人）            12.6%（58人）            1.5%（7人）</p>

## 2 アンケート結果について 県民アンケート⑥

質問項目	回答概要
11 新設又は充実したらよいもの (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常食の試食・販売やドリップコーヒー販売等でセルフで水やお湯を使って非常食の体験を楽しめるカフェコーナーなど。</li> <li>・ クイズラリーや宝探し形式で、親子で楽しく体験、学べるような仕掛け。</li> <li>・ 小さい子どもが楽しみつつも、災害時の対応を学べる仕掛けがあればいい</li> <li>・ 災害の記録や体験に関する書籍の充実</li> </ul>
12 四季防災館に対するご意見 (主なもの)	<p>&lt;ご意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1月1日の地震で初めて地震の恐ろしさを体感した。災害に対する知識が自分自身全然足りないことに気づいた。災害に対応できる知識が養える施設を作ってもらいたい。</li> <li>・ 体験できる場があることを初めて知り、子供がいたら積極的に体験させたいと思った。</li> <li>・ 災害が増えているので家族で災害に備えているが、実際に避難場所での生活など体験できるとその他必要な準備などが分かると思うので、リニューアル後家族で行きたい。</li> <li>・ 能登半島地震を経験し、台風や大雨による浸水害、土砂災害の可能性にも県民は真剣に向き合わなければならないと感じている。リニューアルを機にそうした意識を高める施設になってほしい。</li> </ul>

## 2 アンケート結果について 県民アンケート⑦

質問項目	回答概要
12 四季防災館に対する要望 (主なもの)	<p>&lt;体験&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・四季防災館で、色々な没入体験がしたい。今後、富山県に起こる災害時に、どう備えるか、どうしていけば良いのか、たくさん学びたい</li><li>・3階のスペースももっと体験を入れて欲しい。</li><li>・臨場感のある体験ができる施設を期待。体験型だと、家族で話し合う機会にもなる。</li></ul> <p>&lt;備え&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・能登震災を機に、大地震や浸水被害があったときの備えを整えたい。施設ならではの体験型の学習を自宅に帰ってからの備えに繋げられるような教材があればいいと思う。</li><li>・災害への日頃の備えや家具の固定具等の販売店を作れば如何でしょうか</li><li>・浸水、洪水マップの見方の詳細な説明をパネルと映像で学びたい。自分が住んでいる所を具体的に入力して、危険度を理解した上で避難行動としたい。</li></ul> <p>&lt;運営ほか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・避難所運営など防災対策には女性や若者の視点も大切だと思う。女性や若者の来館者により共感してもらえるように、ぜひ女性や若者の解説員の方も入れてほしい。</li><li>・簡易な模型やおもちゃがあり、子供たちも屋内で楽しく遊びつつ学べるような施設になると良い。全天候型の遊び場を兼ねてもらえると親子連れで訪れる機会も増えると思う。</li></ul>



## 2 アンケート結果について 来館者アンケート①

### <アンケートの概要>

- (1) 調査対象 四季防災館 来館者のうちアンケートに協力いただいた方
- (2) 調査期間 令和6年5月1日～7月15日
- (3) 調査方法 来館者に紙で回答を依頼
- (4) 回収状況 回答数 384人（県内 339人、県外 42人、無回答 3人）

質問項目	回答概要	
1 来館経験	① 初めて 57.6% (221人) > ② 過去に経験あり 42.4% (163人)	
2 来館しての防災意識の変化	①以前から意識していたので、あまりかわらない	4.4% (17人)
	②防火・防災について強く意識するようになった	50.5% (194人)
	③以前より意識するようになった。	41.9% (161人)
	④あまり変化していない	2.3% (9人)
	⑤無回答	0.8% (3人)
3 来館のきっかけ (複数選択可)	①研修会、講習会として	36.2% (139人)
	②自治会、自主防災組織に誘われて	27.1% (104人)
	③令和6年能登半島地震を受けて	22.1% (85人)
	④知人、友人、近隣者から聞いて	11.5% (44人)
	⑤インスタグラム (SNS) を見て	5.5% (21人)
	⑥ホームページを見て	4.7% (18人)
	⑦新聞、雑誌、ラジオ、テレビを見て	3.1% (12人)
	⑧その他	6.8% (26人)

## 2 アンケート結果について 来館者アンケート②

質問項目	回答概要					
4 各コーナーの満足度 (複数選択可) <small>※全回答者中「よかった」と回答者した方の計</small>	①地震体験 84.9% (326人) ②初期消火体験 59.9% (230人) ③煙体験 59.6% (229人) ④暴風雨体験 54.4% (209人) ⑤防災シアター 49.2% (189人)	⑥流水体験 36.2% (139人) ⑦富山の四季と地形 20.3% (78人) ⑧寄り回り波 14.1% (54人) ⑨水害治水の歴史 10.4% (40人)	⑩高齢者体験 9.9% (38人) ⑪富山と雪 9.6% (37人) ⑫雪崩体験 3.1% (12人) ⑬119番体験 0% (0人)			
5 コーナーの新設や強化	①必要だ 72.7% (279人) ②やや必要だ 20.6% (79人) ③あまり必要でない 4.4% (17人) ④必要でない 0.8% (3人) ※無回答1.6% (6人) 必要①+② 93.3% (358人) > 必要でない③+④ 5.2% (20人)					
6 新設又は充実したらよいもの (複数選択可)	①現場にいるような(没入できる)災害の体験 (豪雨、津波、地震を没入体験できるVR) 42.4% (163人) ②実際に近い、生活場面に即した地震体験 (家庭や学校等、室内の映像、音響の追加) 33.9% (130人) ③住んでいる地域(自宅)のリスクを学ぶ (津波、洪水ハザードマップ、地震震度想定図) 33.6% (129人) ④水害(浸水時)の危険の体験 (浸水時の車両の開放体験(水圧ドア)など) 30.0% (115人) ⑤地域(地元)で学べる出前講座 (VR機器やシアターコンテンツを使用した出前講座) 25.3% (97人) ⑥避難所生活を具体的に考える (学校体育館での避難所のジオラマ) 23.4% (90人) ⑦ゲーム(クイズ)で正しい避難の方法を学ぶ (クイズで、わかりやすく命を守る知識を習得) 21.6% (83人) ⑧映像で、災害や避難行動等を学ぶ (地震・津波・水害等、シアター映像の充実) 18.8% (72人) ⑨展示で、日頃の備えや避難行動を学ぶ (備蓄品、携行品、家具固定、避難行動) 18.0% (69人) ⑩学んだ知識を家庭へ持ち帰り、共有する (リスクをQRコードで取得、マイタイムライン) 14.8% (57人) ⑪災害の記憶を残す (令和6年能登半島地震のパネルの展示) 14.8% (57人) ⑫模型で、災害のしくみを学ぶ (液状化、津波、地震のしくみの模型など) 14.6% (56人)					



## 2 アンケート結果について 来館者アンケート③

質問項目	回答概要	
6-2 新設又は充実したらよいもの (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時にあったら役に立つものの説明講習</li> <li>・ ペットを飼っている人向けの防災避難講座</li> <li>・ ゲームで学べると子供たちもわかりやすい</li> <li>・ 最新の地震体験 (能登半島地震入れてほしい)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災グッズの販売 (リュック等)</li> <li>・ VRで体験してみたい</li> <li>・ 水圧ドアの体験は必要だと思う</li> </ul>
6-3 新設又は充実したらよいもの (ぜひ必要なもの) ※ 「是非必要」と思うもの3つ選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>①現場にいるような (没入できる) 災害体験</li> <li>②住んでいる地域のリスクを学ぶ</li> <li>③水害 (浸水時) の危険の体験</li> <li>④実際に近い、生活場面に即した地震体験</li> <li>⑤ゲームで、正しい避難の方法を学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 1 人</li> <li>2 6 人</li> <li>2 4 人</li> <li>1 7 人</li> <li>1 6 人</li> </ul>
7 再度の来館の意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>①機会があれば、再度訪れたい。</li> <li>②一度訪れたので、展示内容に変化があれば再度訪れたい</li> <li>③来館したくない</li> <li>※ 無回答 2.3% (9人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>76.3% (293人)</li> <li>21.1% (81人)</li> <li>0.3% (1人)</li> </ul>
8 四季防災館全般についての意見や要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災意識が薄れる頃に、また来ます。リニューアルを楽しみにしている。</li> <li>・ 災害が起きた時、どうしたらよいのか、どのような備えが必要か考えることができた。</li> <li>・ このように災害の体験ができる施設があれば防災意識が高まると思う。</li> <li>・ とてもよい施設なので周知し、いろいろな人に体験していただきたいと思った。</li> <li>・ 解説員の声が小さく聞こえなかったなので、マイクを使用してほしい</li> </ul>	

## 2 アンケート結果について 来館意向、コーナーの新設・強化（再掲）

---

### (1) 県民アンケート（来館経験がある506人のみ集計）

① 施設の充実度      充実している 90.9% > 充実していない 9.1%

（うち、「どちらかと言えば充実」（55.5%））

・ 充実していると回答した者も「新設又は充実したらよいもの」への回答は全体の回答と大差ない。  
= 施設全体は充実しているが、各コーナーの新設や強化が必要だと考えている。

② リニューアル後の来館意向      来館したい 98.6% > 来館したいと思わない 1.4%  
（うち、積極的に「来館したい」（77.7%））

### (2) 来館者アンケート

① コーナーの新設や強化      必要 93.3% > 必要でない 5.2%  
（うち、積極的に「必要」（72.7%））

② 再度の来館の意向      再訪したい 97.4% > 来館したくない 0.3%  
（うち、展示内容に変化があれば再度訪れたい（21.1%））

---

### 3 リニューアルの方向性（たたき台）

- ・コンセプトとターゲットの考え方
- ・キーワード
- ・既存コーナーの方向性
- ・アンケートで要望の高かったコーナー
- ・キーワードとコーナー例
- ・災害種別・機能別整理

### 3 リニューアルの方向性 コンセプトとターゲットの考え方

---

#### (1) コンセプト

ありたい姿・実現したい未来 県民が災害を知り、正しく恐れることで、災害への備えができ、安全・安心実感が充実している

- <手順等>
- ・ 災害の歴史を知り、備える
  - ・ 四季防災館での学びを地域・家庭へ
  - ・ 自助・共助を育み、安心実感の充実へ

#### (2) ターゲット

- ・ 防災への関心は高いものの体験が不足している県民
- ・ 防災・減災をこれから学習する子供たち

※ターゲットにより、設置コーナーが異なってくるため要検討

<アンケート意見から>

- ・ 「防災教育の必要性」や「子供も楽しめる施設としてほしい」という意見が多数見受けられた。
- ・ 「四季防災館を知らない人が多い」との意見も多数見受けられた。

### 3 リニューアルの方向性 キーワード

#### <課題>

- ・ 避難行動や地域のリスクの住民への十分な周知
- ・ 日頃からの備えについて普及啓発
- ・ 能登半島地震の教訓を活かす

#### <展示の基本方針>

- (1) 災害を四季でとらえる
- (2) 自助+共助を重視
- (3) 富山の災害の歴史や自然を重視
- (4) 本格的な体験学習が行える
- (5) 運営負担の少ない施設とする

#### <リニューアルキーワード> ※課題を踏まえ強化

##### (1) 災害の自分事化

- ・ リアルな災害体験で災害を体感し、知識だけでなく体で災害への備えの必要性を感じてもらう。

##### (2) 災害の理解

- ・ 災害のしくみを正しく知り、適切な避難行動につなげる。

##### (3) 地域のリスク

- ・ 富山の自然や風土、四季の災害、災害の歴史を知り、お住いの地域のリスクを知る

##### (4) 備えと避難

- ・ 日頃どのように備え、災害時どのような行動をとればよいか。自助・共助につなげる

##### (5) 学びのひろがり

- ・ 学んだ知識を家庭や地域へ持ち帰るとともに、施設の内外問わず、広く学びの機会を増やす。

### 3 リニューアルの方向性

### 既存コーナーの方向性①

◎改修・拡充、○そのまま残す、  
△比較・検討、×撤去

機能	現コーナーの満足度 (※1来館者アンケート結果)			現コーナーの評価と方向性 (案) ※事務局	
	コーナー	人	%		
体験	① 地震体験 (揺れと波形)	1F	326	84.9	◎臨場感に欠ける。避難につながるよう映像・音声拡充へ
	② 119番通報体験	1F	0	0	△携帯や公衆電話が古い。体験の重要性は高い。
	③ 高齢者助け合い体験	1F	38	9.9	×車いす介助体験は有用だが、余り使われていない
	④ 初期消火体験	2F	230	59.9	○消火体験は人気だが、一部不具合がありアップグレード検討
	⑤ 煙体験	2F	229	59.6	○煙体験は人気
	⑥ 暴風雨体験	2F	209	54.4	○風水害体験は人気。台風、線状降水帯等の備え
	⑦ 流水体験	2F	139	36.2	◎流水体験は人気。浸水の危険を知るため拡充へ
	⑧ 寄り回り波	1,2F	54	14.1	△本県特有だが、高さを活かし津波にも活用できないか
	⑨ 雪崩体験	2F	12	3.2	×このスペースを有効活用したい。音がうるさく不評

※1 大概の方が「よかった」「ややよかった」のどちらかを選択。満足度が高く差が出ないため、アンケート人数は「よかった」と回答した方のみの計。

また、%の分母について、「体験していない」、「無回答」の方を除外すると、満足度が95%以上となり差が出ないため、全回答者を分母とした。

### 3 リニューアルの方向性

### 既存コーナーの方向性②

◎改修・拡充、○そのまま残す、  
△比較・検討、×撤去

機能	現コーナーの満足度 (※1来館者アンケート結果)				現コーナーの評価と方向性 (案) ※事務局
	コーナー	人	%		
学び	① 富山の四季と地形	1F	78	20.3	◎小さく見にくい。工夫の余地あり
	② 防災シアター	1F	189	49.2	◎ソフトの充実
	③ 水害と治水の歴史	2F	40	10.4	○歴史に学ぶことは大切。ここ10年のものは追加
	④ 富山と雪	2F	37	9.6	○富山で雪は外せないが、見せ方の工夫は必要
	⑤ 強風災害	2F	-	-	△本県特有だが、他のものと比較の上検討
	⑥ 山地災害と山岳救助	3F	-	-	△本県特有だが、他のものと比較の上検討
	⑦ 津波浸水想定図	3F	-	-	×他のハザードマップとの切替表示で有効活用できないか
備え	防災グッズ等の展示	1F	-	-	◎既存では足りない。日頃の備え、避難行動は拡充すべき



### 3 リニューアルの方向性 アンケートで要望の高かったコーナー ①

施設に求める機能 ※1	県民アンケート (N:506人) ※2		来館者アンケート (N:384人)	
(1)リアリティのある災害を体験できる機能 85.0% (430人)  <① 災害の自分事化>	①現場にいる (没入できる) 災害体験 (ex.豪雨、津波、地震を没入体験できるVR)	75.9% 384人	①現場にいる (没入できる) 災害体験 (ex.豪雨、津波、地震を没入体験できるVR)	42.4% 163人
	②実際に近い生活場面に即した地震体験 (ex.学校等室内の映像、臨場感ある音響追加)	64.2% 325人	②実際に近い生活場面に即した地震体験 (ex.学校等室内の映像、臨場感ある音響追加)	33.9% 130人
	④水害 (浸水時) の危険の体験 (ex.浸水時の車両の開放体験(水圧ドア)など)	61.1% 309人	④水害 (浸水時) の危険の体験 (ex.浸水時の車両の開放体験(水圧ドア)など)	30.0% 115人
(2)地域の災害リスク等を学べる学習機能 63.2% (320人)  <② 災害の理解> <③ 地域のリスク>	③住んでいる地域のリスクを学ぶ (ex.津波、洪水等ハザードマップ、震度想定図)	63.2% 320人	③住んでいる地域のリスクを学ぶ (ex.津波、洪水等ハザードマップ、震度想定図)	33.6% 129人
	⑥ゲームで正しい避難の方法を学ぶ (ex.クイズで、わかりやすく知識を習得)	46.4% 235人	⑦ゲームで正しい避難の方法を学ぶ (ex.クイズで、わかりやすく知識を習得)	21.6% 83人
	⑧映像で、災害や避難行動等を学ぶ (ex.地震・津波・水害等、シアター映像の充実)	34.8% 176人	⑧映像で、災害や避難行動等を学ぶ (ex.地震・津波・水害等、シアター映像の充実)	18.8% 72人
	⑨災害の記憶を残す (ex.令和6年能登半島地震に関するパネル展示)	28.7% 145人	⑩災害の記憶を残す (ex.令和6年能登半島地震に関するパネル展示)	14.8% 57人
	⑪模型で、災害のしくみを学ぶ (ex.液状化、津波、地震のしくみの模型など)	27.7% 140人	⑫模型で、災害のしくみを学ぶ (ex.液状化、津波、地震のしくみの模型など)	14.6% 56人



### 3 リニューアルについて アンケートで要望の高かったコーナー②

施設に求める機能※1	県民アンケート (N:506人) ※2		来館者アンケート (N:384人)	
(3)災害への日頃の備え等に関する展示機能 61.7% (312人) <④備えと避難>	⑤日頃の備えや避難行動を学ぶ展示 (ex.備蓄品、携行品、家具固定、避難行動)	47.2% 239人	⑥避難所生活を具体的に考えるジオラマ (ex.学校体育館での避難所のジオラマ)	23.4% 90人
	⑦避難所生活を具体的に考えるジオラマ (ex.学校体育館での避難所のジオラマ)	40.9% 207人	⑨日頃の備えや避難行動を学ぶ展示 (ex.備蓄品、携行品、家具固定、避難行動)	18.0% 60人
(4)その他 (PR、利便性向上)  <⑤学びのひろがり>	⑩何度も四季防災館を訪れたくなる仕掛 (ex.スタンプカード、メルマガ、会員ランク制度)	28.3% 143人		
	⑫学んだ知識を家庭へ持ち帰り共有する (ex.地域のリスクのQRコードでの取得ほか)	26.7% 123人		
	⑬地域（地元）で学べる出前講座 (ex.VR機器やシアター映像による出前講座)	23.7% 120人	⑤地域（地元）で学べる出前講座 (ex.VR機器やシアター映像による出前講座)	25.3% 97人
	⑭インターネット上での来館前事前学習 (ex.スマホやパソコンから3D映像で自由に見学できる「デジタル四季防災館」)	13.2% 67人		
	⑮その他	2.0% 10人		

※1 県民アンケートで、「施設に求める機能」を回答いただいたもの。(1)~(3)の3つの機能から選択いただいた。(4)については、人数、%は表示されない。

※2 具体のコーナーで充実したらよいものを回答いただいたもの。○数字はトータル順位。機能区分ごとに順に表示

### 3 リニューアルの方向性

#### キーワードとコーナー例

◎新規、○改修・拡充、・そのまま  
 ※例示。建物面積及び予算の制約あり、要検討

キーワード	意図、効果	既存コーナーで対応	新規・拡充の例
① 災害の自分事化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害をリアルに体感し、体で災害の備えの必要性を感じる。</li> <li>・万一の時、動揺しない。</li> <li>・災害時の危険を回避する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地震体験</li> <li>○流水体験</li> <li>・風水害体験</li> <li>・初期消火体験</li> <li>・煙体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎音響・映像・種類の追加</li> <li>◎水圧ドア体験</li> <li>◎VR・AR災害体験</li> </ul>
② 災害の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害のしくみを正しく知る。</li> <li>・適切な避難行動につなげる。</li> <li>・子供も楽しく学べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災シアター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○映像ソフト更新</li> <li>◎津波、液状化模型</li> <li>◎体験型○×クイズ</li> </ul>
③ 地域のリスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四季の災害のリスクを知る</li> <li>・住んでいる地域のリスクを知る</li> <li>・災害の歴史を知る</li> <li>・災害が起きた時の被害を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○富山の四季と地形</li> <li>・水害と治水の歴史</li> <li>・富山と雪</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎津波・洪水ハザードマップ</li> <li>◎地震被害想定図</li> <li>◎液状化しやすさマップ</li> <li>◎能登半島地震パネル</li> </ul>
④ 備えと避難	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から災害に備える</li> <li>・災害時の避難行動を学ぶ</li> <li>・自助・共助につなげる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災グッズ</li> <li>○防災シアター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○備蓄品、防災グッズ展示</li> <li>◎避難行動の展示</li> <li>○避難行動映像、消防団紹介</li> </ul>
⑤ 学びのひろがり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだ知識を家庭等で活かす</li> <li>・地域でも災害を体験し、学ぶ</li> <li>・自宅で四季防災館を見学する</li> <li>・防災知識をアップデートする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◎QRコードで知識を家庭へ</li> <li>◎地域で学べる出前講座</li> <li>○インターネット四季防災館</li> <li>◎何度も訪れたくなる仕掛け</li> </ul>

---

## 4 リニューアル計画骨子

# 4 リニューアル計画骨子（構成素案）

---

## 1 四季防災館の現状

- (1) 激甚化する災害と自助・共助
- (2) 四季防災館の特徴、沿革
- (3) 四季防災館の現状と課題
- (4) 国内の防災関連施設の動向
- (5) 県民、来館者アンケート調査結果

## 2 リニューアルの方向性

- (1) 目指す方向性
- (2) コンセプト
- (3) ターゲット（※記載するかは要検討）
- (4) リニューアルの考え方

## 3 展示計画

- (1) 基本方針
- (2) 展示テーマ・構成
- (3) ゾーニング・配置
- (4) 導入アイテムの検討
- (5) 配慮すべき点

## 4 管理運営計画

リニューアル後のツアー方式

## 5 四季防災館の機能を広げる方策

広報活動・館外活動（※記載するかは要検討）

## 6 施設整備

整備スケジュール

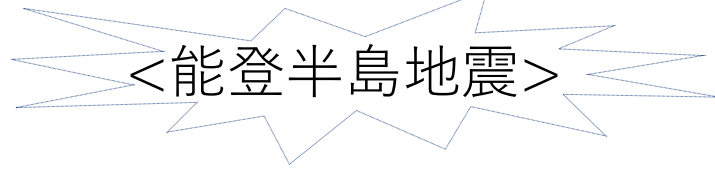
---

## 5 スケジュール

## 5 スケジュール ※当面のスケジュール案

---

前回 (R5.12.25) 第10回運営委員会 (リニューアルの検討)



<当面のスケジュール>

R 6 第 1 回 (R6.5.22) 第11回運営委員会 (地震を踏まえ、方向性等意見交換)

〃 第 2 回 (R6.8.29) 第12回運営委員会 (ニーズ等踏まえ、方向性を検討)

- ・ アンケート結果報告
- ・ 有識者からの意見聴取

〃 第 3 回 (10月) 第13回運営委員会 (リニューアル計画 (素案) )

〃 第 4 回 (11月下~1月) 第14回運営委員会 (リニューアル計画 (案) )